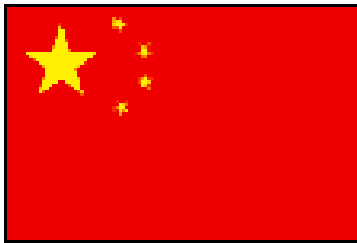




## 八王子国際フレンドからのメッセージ



### 中国



### プロフィール

名前：楊 楽穎（ヨウ ラクエイ）  
出身地：広西チワン族自治区の桂林  
日本在住：4ヶ月  
趣味：バレーボール

### 🍁 日本での暮らし紹介 🍁

皆さん、こんにちは。私は楊楽穎です。去年9月に初めて中国から日本に来ました。今は大学四年生で、交換留学生として杏林大学で日本語を勉強しています。

日本に来たばかりの私にとって、何もかもが新鮮で、いろいろなことを経験することは楽しみです。きれいな街、とても親切な店員さん、いつも時間通りに来るバス、自動的に音を鳴らし、ペーパーを備え付けたトイレ、無料な就職情報についての雑誌、大変便利なコンビニなどに驚くとともに感心しました。そして日本ならではの祭りが大好きです。これは日本でしか体験できないことです。地域の人々と一緒に汗をかきながら力を合わせて山車を引いたり、ローカル話を聞かせたりするのが楽しかったです。

ここでとてもいい先生や友達と知り合えていろいろと教えていただきました。日本に来て本当によかったと思っています。これからもいい思い出をいっぱい作って悔いの残らないような留学生活をしていきたいと思っています。

### 🍁 母国の紹介 🍁

私の故郷の広西チワン族自治区の桂林市を皆さんに紹介したいと思います。

桂林の桂は中国語で金木犀の意味です。つまり、桂林は金木犀の木の街ということになります。その名のとおり、桂林市内には 45 万本の金木犀の木があり、秋にはいっせいに花が開き、街中が黄色の花と香りに包まれます。



桂林といえば、カルスト地形でタワーカルストが林立し、絵のように美しい風景に恵まれ、有名な観光地です。水墨画の世界を見るために毎年世界各地から多くの観光客が訪れてきます。もっとも有名なのは漓江下りです。ゆったりとした川の流れに船を浮かべて、川を下っていくなんて、想像しただけでのんびりした気分になりませんか？船上からは、水墨画から抜け出したような景色が延々と続き感動を味わえます。

晴れた日に鮮やかな青空と深緑のそびえ立つ山々、そして蒼い漓江の色彩コントラストには息を呑むことでしょう。また、雨の日も、霞のなかに色を失った濃淡だけの山々が私たちを水墨画の世界へと案内してくれます。特に小雨が降る春の朝、水面に小さな雨が薄い錦布のような模様を刻み、何とも言えない美しさを呈しています。天気、時刻、季節、とその日、その時の状態によって刻一刻と様々な美しい姿で観光客を迎えてくれます。



夜になると、チャン・イーモウ監督が指導された山水を背景とする雄大なショーも見られます。



次は桂林の山です。いろいろな形をしている山はとても可愛らしいです。

象鼻山は象が漓江に鼻を入れて水を飲んでいるように見えることから名づけられたので、桂林の象徴と言ってもよいです。鼻先まで筏で行くことができます。象の鼻と足の間には、全て自然の力で作られた真ん丸い洞窟があります。この真ん丸い洞窟は月の美しい夜に川面に映る洞窟の影が満月のようにみえることから、水月洞と呼ばれています。辺り一帯が紅く染まる夕刻から満月の上った夜空の時刻にかけて、象鼻山の一番美しい姿が見られるでしょう。



<sup>らくだ</sup>駱駝山。緑に囲まれるのんびりしている駱駝に見えませんか。クリントン前大統領も来たことのある碑がありました。

九馬画山。岸壁の濃淡ができて、それが壁画のようにも見えます。その中、九匹の馬のように見えるのだといいます。誰でも見つけることができるわけではなく、賢い人だけ見つけられると言われてますよ。



また、桂林市と日本の熊本市は友好都市です。桂林の街を歩いていると、バスの車体に「熊本友情号」と書かれたのもよく見かけられます。日本との親しみも感じられます。

機会があれば、ぜひ一度桂林へ足を運んでいただきたいです。小さな町ですが、みんなの訪れをお待ちしております。